

## 令和6年度 滋賀県障害者ピアサポート研修（基礎研修） プログラム

※本研修は、国の「障害者ピアサポート研修事業実施要綱」に基づき、「令和3年度厚生労働省障害者総合福祉推進事業」で作成された研修テキスト等を参照して実施します。なお、当日のプログラム進行状況等によっては、開始・終了時間が変更になる場合があります。

	時間	分	科目名	区分	内容	講義・演習のねらい	
基礎研修 1日目 8月26日 (月) 滋賀県庁東館7階 大会議室	9:30~10:00				受付・資料配布		
	10:00~10:10	10	受講ガイダンス	講義	○研修の獲得目標、研修の構造と研修の進め方 ○研修全体の流れ、グランドルール	○研修の流れと目的を理解する。 ○講義と演習の繰り返しで行うため、グループワークに参加する際のルールを理解する。	
	10:10~10:40 ※10分休憩	30	ピアサポートの理解	講義	○障害領域ごとの歴史や背景 ○障害領域ごとの視点	○ピアサポートは何かという基本について理解する。 ○ピアサポート活動は障害者の人権と深く関連しており、障害当事者の強みを活かし、その人らしい人生を生きるという当たり前の権利を実現しようとすることを支援する点に大きな特徴があることを学ぶ。	
	10:50~11:50	60		演習	○講義「ピアサポートの理解」の振り返り、気づきの共有		
	11:50~12:50	60			昼休憩（60分）		
	12:50~13:00	10	ピアサポートの実際・実例	講義	○障害領域ごとのピアサポート実践	「ピアサポートの理解」の中でも障害ごとのサポートについて触れているが、この科目では、障害当事者の経験に基づく語りを通して、より具体的にピアサポートを理解する。	
	13:00~13:20	20		事例発表	知的障害領域		
	13:20~13:40	20			難病領域		
	13:40~13:55	15		休憩			
	13:55~14:15	20		事例発表	身体障害領域	「ピアサポートの理解」の中でも障害ごとのサポートについて触れているが、この科目では、障害当事者の経験に基づく語りを通して、より具体的にピアサポートを理解する。	
	14:15~14:35	20			精神障害領域		
	14:35~14:50	15		休憩			
	14:50~15:30	40		演習	○講義「ピアサポートの実際・実例」の振り返り、気づきの共有	「ピアサポートの理解」の中でも障害ごとのサポートについて触れているが、この科目では、障害当事者の経験に基づく語りを通して、より具体的にピアサポートを理解する。	
	15:30~16:00					事務連絡、アンケート記入	

## 令和6年度 滋賀県障害者ピアサポート研修（基礎研修） プログラム

※本研修は、国の「障害者ピアサポート研修事業実施要綱」に基づき、「令和3年度厚生労働省障害者総合福祉推進事業」で作成された研修テキスト等を参照して実施します。なお、当日のプログラム進行状況等によっては、開始・終了時間が変更になる場合があります。

	時間	分	科目名	区分	内容	講義・演習のねらい	
基礎研修 2日目  8月27日 (火) 滋賀県庁東館7階 大会議室	9:30~10:00				受講生受付		
	10:00~10:05	5	受講ガイダンス		○2日目の説明		
	10:05~10:45	40	コミュニケーションの基本	講義	○ピアサポートの視点を取り入れたコミュニケーション技法や経験の共有	○人を対象としたサポートでのコミュニケーションの大切さを学ぶ。 ○技法を使用することでの気づきを共有し、自らのコミュニケーションへの意識を働かせる。	
	10:45~11:00	15	休憩				
	11:00~12:00	60	コミュニケーションの基本	演習	○講義「コミュニケーションの基本」の振り返り、気づきの共有	○人を対象としたサポートでのコミュニケーションの大切さを学ぶ。 ○技法を使用することでの気づきを共有し、自らのコミュニケーションへの意識を働かせる。	
	12:00~13:00	60	昼休憩（60分）				
	13:00~13:40	40	障害福祉サービスの基礎と 実際	講義	○障害福祉施策の歴史 ○障害福祉施策の仕組み	○障害福祉施策の歴史や障害福祉施策の仕組みを知る。	
	13:40~14:00	20		演習	○講義「障害福祉サービスの基礎と実際」の振り返り、気づきの共有		
	14:00~14:15	15	休憩				
	14:15~14:45	30	ピアサポートの専門性	講義	○ピアサポートの具体的な専門性 ○倫理と守秘義務	○ピアサポートの専門性と、それを活かすことにより、より良いサービスが提供できることを理解する。 ○その専門性を担保するための倫理と守秘義務について学ぶ。	
14:45~15:35	50	演習		○講義「ピアサポートの専門性」の振り返り、気づきの共有			
15:35~16:00				事務連絡、アンケート記入			

## 令和6年度 滋賀県障害者ピアサポート研修（専門研修） プログラム

※本研修は、国の「障害者ピアサポート研修事業実施要綱」に基づき、「令和3年度厚生労働省障害者総合福祉推進事業」で作成された研修テキスト等を参照して実施します。なお、当日のプログラム進行状況等によっては、開始・終了時間が変更になる場合があります。

	時間	分	科目名	区分	内容	講義・演習のねらい	
専門 研修 1 日 目  1 0 月 1 5 日 （火） 滋賀 県 庁 東 館 7 階 大 会 議 室	9:30～10:00				受付・資料配布		
	10:00～10:10	10	受講ガイダンス		○1日目の説明		
	10:10～10:30	20	基礎研修の振り返り	講義	○基礎研修の振り返り	○基礎研修で学んだことを振り返るとともに、専門研修の概要を理解する。	
	10:30～11:10	40	ピアサポーターの基礎と専門性	講義	○障害特性に応じた専門性	○“リカバリー”（障害や病気のある方がありのままの自分らしく生きようとする）について、理解する。 ○障害者ピアサポーターとしての専門性について改めて確認する、	
	11:10～12:10	60		演習	○講義「ピアサポートの理解」の振り返り、気づきの共有	○障害や病気のある方がありのままの自分らしく生きようとする過程やこれまでの経験等を言葉にすること（リカバリーストーリーを語ること）の大切さを理解する。	
	12:10～13:10	60	昼休憩				
	13:10～13:50	40	ピアサポートの専門性の活用	講義	○障害特性に応じたピアサポートの専門性を活かすための視点	○ピアの専門性を活かすために重要な視点を理解する。	
	13:50～14:20	30		演習	○講義「ピアサポーターの専門性の活用」の振り返り、気づきの共有	○ピアの専門性の活かし方を具体的な事例から学ぶ。	
	14:20～14:35	15	休憩（※ピアサポーターと管理者等に分かれるため、テーブル移動）				
	14:35～15:15	40	関連する保健医療福祉施策の仕組みと業務の実際（ピアサポーター）	講義（ピアサポーター）	関連法、関連施策	○保健・医療・福祉に関係制度や法律の関連を知る。	
	15:15～15:55	40		演習（ピアサポーター）	○講義「関連する保健医療福祉施策の仕組みと業務の実際」の振り返り、気づきの共有	○生活を支える事業や機関を知る。 ○障害福祉サービス事業所等での実際の業務をイメージできるようにする。	
	14:35～15:15	40	ピアサポートを活用する技術と仕組み（管理者等）	講義（管理者等）	○現場におけるピアサポートの活用方法	○ピアサポーターがいることで、その事業所の職員だけでなく、組織にも良い影響が生まれることを理解する。	
	15:15～15:55	40		演習（管理者等）	○講義「ピアサポートを活用する技術と仕組み」の振り返り、気づきの共有	○ピアサポーターが効果的にそのスキル（能力や実力）を発揮するためには、事業所がピアサポートを理解し、環境を整えることの必要性について理解する。	
	15:55～16:15	20	休憩				
	16:15～16:35	20	ピアサポーター、管理者等別講義及び演習内容についての共有	演習	○ピアサポーター及び管理者等の代表グループから発表	○障害者、事業所職員のそれぞれの講義及び演習内容を共有する。	
16:35～17:00				事務連絡、アンケート記入			

## 令和6年度 滋賀県障害者ピアサポート研修（専門研修） プログラム

※本研修は、国の「障害者ピアサポート研修事業実施要綱」に基づき、「令和3年度厚生労働省障害者総合福祉推進事業」で作成された研修テキスト等を参照して実施します。なお、当日のプログラム進行状況等によっては、開始・終了時間が変更になる場合があります。

	時間	分	科目名	区分	内容	講義・演習のねらい	
	時間	分	科目名	区分	内容	講 師	
専 門 研 修 2 日 目  1 0 月 1 6 日 （ 水 ） 滋 賀 県 庁 東 館 7 階 大 会 議 室	9:30～10:00				受付・資料配布		
	10:00～10:05	5	受講ガイダンス		○2日目の説明		
	10:00～10:15	10	専門研修の振り返り		○専門研修1日目の振り返り	○専門研修1日目で学んだことを振り返る。	
	10:15～10:45	30	ピアサポーターとしての働き方（ピアサポーター）	講義	○労働法規	○労働者として働く上での権利と労働法規について、学ぶ。 ○人を支援する上で、理解しておく必要がある倫理や各領域の倫理基準等について学ぶ。	
	10:45～11:25	40		演習 (ピアサポーター)	○講義「ピアサポーターとしての働き方」の振り返り、気づきの共有		
	10:15～10:45	30	ピアサポーターを活かす雇用（管理者等）	講義	○ピアサポーターを雇用し、協働する上での留意点	○ピアサポーターの雇用についての現状を知る。 ○ピアサポーターが活躍しやすい条件を具体的に考え、ピアサポーターと専門職が協働することについて理解を深める。	
	10:45～11:25	40		演習 (管理者等)	○講義「ピアサポーターを活かす雇用」の振り返り、気づきの共有		
	11:25～12:25	60	昼休憩				
	12:25～12:55	30	セルフマネジメントとバウンダリー	講義	○ピアサポーターが葛藤しやすい状況 ○病気や障害を抱えて働く上でのセルフケア	○ピアサポーターとして働き続けるために、セルフマネジメント（自己管理）の大切さを知る。 ○役割葛藤、二重関係（複数の関係性）などピアサポーターが葛藤しやすい状況を理解する。 ○バウンダリー（境界線）を意識することで、自分と相手を大切にすることを学ぶ。	
	12:55～13:35	40		演習	○講義「セルフマネジメントとバウンダリー」の振り返り、気づきの共有		
	13:35～13:55	20	休憩				
	13:55～14:35	40	チームアプローチ	講義	○所属機関（チーム）におけるピアサポーターの役割と協働における留意点	○チームワークの必要性について、学ぶ。 ○チームの中でのピアサポーターの役割や業務をイメージし、ピアサポーターの強みが発揮できること、発揮できるチームづくりについて、学ぶ。	
	14:35～14:50	15	休憩				
	14:50～15:50	60	チームアプローチ	演習	○講義「チームアプローチ」の振り返り、気づきの共有	○チームワークの必要性について、学ぶ。 ○チームの中でのピアサポーターの役割や業務をイメージし、ピアサポーターの強みが発揮できること、発揮できるチームづくりについて、学ぶ。	
	15:50～16:05	15	まとめ		○研修全体のまとめ、実践に向けて	○基礎研修、専門研修全体のまとめ、事業所等でのピアサポート活動の実践につなげる。	
16:05～16:30				事務連絡、アンケート記入			

## 令和6年度 滋賀県障害者ピアサポート研修（フォローアップ研修） プログラム

※本研修は、国の「障害者ピアサポート研修事業実施要綱」に基づき、「令和3年度厚生労働省障害者総合福祉推進事業」で作成された研修テキスト等を参照して実施します。なお、当日のプログラム進行状況等によっては、開始・終了時間が変更になる場合があります。

	時間	分	科目名	区分	内容	講義・演習のねらい	
フ ォ ロ ー ア ッ プ 研 修 1 日 目	9:30~10:00		受付	—	資料配布など		
	10:00~10:10	10	受講ガイダンス	講義	○研修の獲得目標、研修の構造と研修の進め方 ○研修全体の流れ、グランドルール	・研修の流れと目的を理解する。 ・講義と演習の繰り返しで行うため、グループワークに参加する際のルールを理解する。	
	10:10~10:40	30	基礎研修・専門研修の振り返り	講義	○基礎研修、専門研修の振り返り	・基礎研修、専門研修で学んだことを振り返るとともに、フォローアップ研修の概要を理解する。	
	10:40~10:50	10	休憩				
	10:50~11:50	60	障害特性	講義	○障害分野ごとの説明 ○障害ピアサポートの歴史	・各障害分野の説明を受け、改めて障害に対する理解を深める。 ・各障害分野でのピアの活動について、その歴史を学ぶ。 ※GW20分程度設ける	
	11:50~12:50	60	昼休憩（60分）				
	12:50~13:20	30	働くことの意義	講義	○ピアサポーターとして職場にもたらす効果	職場（業務や役割）と理想のミスマッチ、働くことへの迷い、ゆらぎは当然誰にでも起こりやすいことを理解した上で、自分自身の中で整理できるようにする。	
	13:20~14:20	60		演習	○働くことの意義について、自身の思いを言語化	・自身が何のために働くのか、ピアサポーター等として働くことの意義について考える。 ・自身が既に実践していること、これからしてみたいと思うことについて、講義を踏まえて再確認して共有する。	
	14:20~14:30	10		発表			
	14:30~14:45	15	休憩				
14:45~15:25	40	ピアスタッフと障害者雇用	講義	○ピアスタッフと障害者雇用	・自身の事業所にストレングスやリカバリーの視点があるか、どのような職場がしっかり見極める視点を持つ。 ・雇用者と雇用主の立場を変えて、それぞれの立場で物事を考えることで、新たな働き方を身に着ける。		
15:25~15:35	10	休憩					
15:35~16:35	60	ピアスタッフと障害者雇用	演習	○ピアスタッフと障害者雇用について、立場を変える視点	・専門研修で行った働きやすい環境について、立場を変えて考え、共有する。 ・雇用を生み出すヒントを見つける。		
16:35~16:45	10		発表				
16:45~16:55	10	事務連絡					
1 1 月 1 3 日 （ 水 ） 滋 賀 県 庁 東 館 7 階 大 会 議 室							

## 令和6年度 滋賀県障害者ピアサポート研修（フォローアップ研修） プログラム

※本研修は、国の「障害者ピアサポート研修事業実施要綱」に基づき、「令和3年度厚生労働省障害者総合福祉推進事業」で作成された研修テキスト等を参照して実施します。なお、当日のプログラム進行状況等によっては、開始・終了時間が変更になる場合があります。

	時間	分	科目名	区分	内容	講義・演習のねらい	
フォローアップ研修2日目 11月14日（木） 滋賀県庁東館7階大会議室	9:30～10:00		受付	—			
	10:00～10:10	10	受講ガイダンス、1日目の振り返り	講義	○2日目の説明、1日目の振り返り		
	10:10～11:10	60	ピアサポーターとしての継続的な就労	講義	○実際にピアサポーターとして就労している人の話を聞く	・（可能であれば）長期にわたり、ピアサポーターとして活躍している人の体験談を聞き、自身の糧にする。 ※質疑応答を10分程度設ける	
	11:10～11:20	10	休憩				
	11:20～12:20	60	ピアサポーターとしての効果的なコミュニケーション	講義	○職場内や関係機関との連携の中で、自身の発信力を高めることによる専門性の発揮方法	・ピアサポーターの専門性を踏まえた発信力をどのように向上するかを、働く上で起こりえる事例を基に理解を深める。	
	12:20～13:20	60	昼休憩（60分）				
	13:20～14:30	70	ピアサポーターとしての効果的なコミュニケーション	演習	○効果的なコミュニケーションの実施について、想定を基にグループワークを実施	・ピアサポーターが多職種チームの中で意見を伝えることを体験する。また、自身と異なる職種による立場や違いを尊重できるようにする。	
	14:30～14:45	15	休憩				
	14:45～15:15	30	ピアサポーターとして現場で効果的に力を発揮するための準備	講義	○ピアサポーターとして雇用されるうえでの準備、留意点	・ピアサポーターとしての意義や役割について、改めて確認する。 ・ピアと専門職との協働・連携の在り方について考える。	
	15:15～16:15	50		演習	○講義「ピアサポーターとして現場で効果的に力を発揮するための準備」の振り返り、気づきの共有		
	16:15～16:30	15		発表			
	16:30～16:40	10	事務連絡				